

# 企業の競争力支える国際物流

## 陸海空の複合輸送を提供するUPS

「物流」が企業の競争力や企業価値そのものを高める要素として、一段と重要性を増している。この流れは大企業だけでなく、アジアをはじめ事業のグローバル化が進む中堅・中小企業においても、正確・効率的で顧客対応力に優れたサプライチェーンの構築が急務の課題に位置づけられるようになった。それを実現するための有力なパートナーが、世界最大級の国際物流会社であるUPS。陸海空の複合輸送を自社で一貫して手がけ、緊急性の高いエクスプレス輸送から高重量貨物の輸送まであらゆる物流ニーズに対応する。そのワンストップソリューションの活用や経営上の利点について、UPSの顧客企業を訪ねて話をうかがった。

### 正確・スピーディーな物流が企業の信頼性を構築

横浜市に本社を置く三恵イーグルは、HDD（ハードディスク駆動装置）の生産設備など、制御機器の製造・販売を主力事業とする従業員約百二十人の会社。台湾、シンガポール、タイ、中国に拠点を持ち、国内で設計・製造した製品を大手メーカーの海外工場に納品している。中島靖夫社長は「HDD製造装置はクリーンルームで使用される極めて精密な機械。またHDDはライフサイクルが短く、メーカーではモデル変更に伴って製造ラインを組み替えなくてはならないため、納期の正確さも厳しく要求される」と、物流の観点からの製品特性を説明する。

従来型の国際輸送は、複数の輸送会社の手を経て配送される仕組み。その途中で製品がダメージを受けたり、到着日程が不安定といった問題が、同社の場合も少なくなかったという。またこれまででは荷物の大きさや、航空輸送、海上輸送といった輸送手段に応じていくつかの業者を使い分けていた。そのため種類の異なる伝票の起票や各社への連絡など、出荷に伴う業務も複雑さを増していた。こうした問題を解消するため、三恵イーグルではUPSのワンストップソリューションを導入した。UPSの一貫輸送によって物流のスピードと正確さが格段に向上するとともに、出荷準備の作業を大幅に簡素化。出荷後の貨物の状況もパソコン上でリアルタイムに追跡し、顧客からの問い合わせにも的確に返答できるようになった。

「納入先にとって重要なのは、いつ出荷したかではなく、いつ到着するか。どんなに優れた製品でも、物流段階でもたついている顧客から見た価値は損なわれてしまう。複数の中間業者の手を経ると、それだけリスクも高まることになる。優れた国際物流サービスの活用が、最終的にわれわれの信頼構築に結び付いている」と中島社長は語る。

### 小口から海上コンテナまであらゆる輸送パターンに対応

三恵イーグルでは、シャッターの開閉コントロールなど一部製品を台湾の拠点で生産しており、そこでも陸海空を組み合わせたUPSの一貫サービスが威力を発揮している。部品類は現地調達や日本から航空輸送し、組み立てた製品は毎月数百台をまとめて海上コンテナで日本へ輸送。そして通関手続きから顧客先へのドア・ツー・ドアの配送まで、往復ともUPSのサービスを活用している。さらに緊急性の高い納品の場合、航空輸送に切り替えて配送している。「多様な輸送パターンに、一社でフレキシブルに対応してもらえ



三恵イーグル 社長 中島 靖夫氏

### 三恵イーグル (本社・横浜市)

優れた技術力とグローバルな視点でビジネスを拡大させる三恵イーグルは、HDD製造装置をはじめとする自動化ツールの開発・設計・製造を一貫して手がけ、液晶・半導体などの生産工程に使う制御装置を提案・販売する商社機能も併せ持つ。国内外の有力ITメーカーを主な取引先とし、また外国人社員の積極登用など国際性と革新性に富む企業。物流においても新しい試みを取り入れ、効率化に成功するとともに高い顧客満足を得ている。



●海外に輸送する製造装置は、精密な技術の集積(左)  
●出荷窓口では「UPS World Ship」を導入し、パソコン上で正確・スムーズに出荷準備を行う(上)。

### 200以上の国・地域を結ぶネットワークと物流を支える先端のテクノロジー

UPSは、世界200以上の国・地域にネットワークを持つ世界最大規模の国際物流会社。約600百機の貨物航空機と8万8,000台の車両、そして38万4,000人の従業員を擁し、年間に約36億個もの貨物を取り扱う(2004年実績)。世界中の陸海空にわたる自社一貫物流網を誇るUPSは、豊富なサービスのポートフォリオを用意し、それらをフレキシブルに組み合わせることで企業のあらゆる物流ニーズに対応している。緊急性の高い貨物や書類の輸送に適した「UPS Worldwide Express」、迅速・確実なエクスプレス輸送に海上・航空空運と海上輸送を組み合わせた「UPS Trade Direct Ocean/Air」などは代表的なポートフ

オリオの一例だ。さらに荷主企業への高度なIT(情報技術)ソリューションでも先駆的なサービスを提供している。出荷作業をコンピュータ上で行うことで業務を簡素化し、さらに企業内の出荷状況の一元管理を行う「UPS Campus Ship」、専用ソフトを搭載したパソコン上で出荷準備ができる「UPS World Ship」などによって、企業の物流効率化を強力に支援する。UPSなら小口でも大きな貨物でも常に貨物の所在をウェブ上で把握することができる。さらに世界規模のサプライチェーンや商品代金回収の金融サービスなど電子商取引のソリューションを通じ、物流にかかわるモノ・情報・資金の流れの一元管理を可能にしている。

「のは大きなメリット」と、その利点を高く評価している。また物流の正確さが生産計画全般に影響を及ぼす点を、中島社長は強調する。現地の通関状況が不確かなこともあり、従来は日本から送った部品の到着日程が確定できなかった。到着が決まらないと生産計画が立てられず、数日間をわたり

### 増加・細密化するモノの流れ 物流パートナーが成功を支援

三恵イーグルのように、アジアを舞台に独自技術によって強みを発揮している中堅・中小企業は多い。生産拠点として、そして消費地として大きく伸張するアジアにおいて一層の競争優位性を築くには、各地の顧客ニーズに即応できるような、よりきめ細かな情報とモノの流れを作り出すことが重要になる。中島社長は「可能な限り顧客の近くに拠点を持ち、顧客の声を聞きながら製品やメンテナンスを提供したい。また今後はシンガポールを拠点に、アジアから部品を集めて生産・出荷することも検討している。さらにシンガポールで作ったものを、タイや中国に送って組み立てるという仕組みもあり得る。モノの行き来はますます細かく頻繁になり、アジア地域の物流量は毎年倍々のペースで増えていくのではないかと展望する。国境を超えて縦横無尽にモノが駆けめぐれる時代。複雑化するサプライチェーンを管理し、顧客ニーズに的確に答えながらビジネスを成功に導くには、確かな物流パートナーの存在が不可欠となるはずだ。UPSが提供する国際物流のソリューションは、多くの企業にとって信頼構築と成功へのソリューションと言えらるだろう。

